

令和7年度第2回横浜市病院安全管理者会議 参加者アンケート

生体情報モニターの安全な運用とアラーム管理 ～現場でできる工夫と実践のポイント～

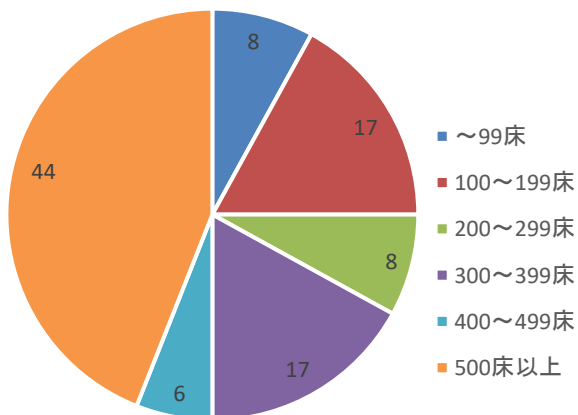
令和8年2月12日 横浜市庁舎1階 スペースAB

会議へのご参加及びアンケートへのご協力、誠にありがとうございました

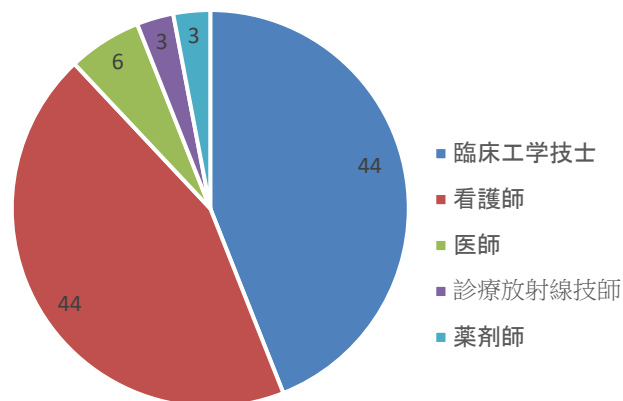
Q1.参加者・参加病院・参加経験・会議開始時間等について

来場者数：31施設 55名
回答数：36 (回答率65%)
グラフ内数値は割合 (%)

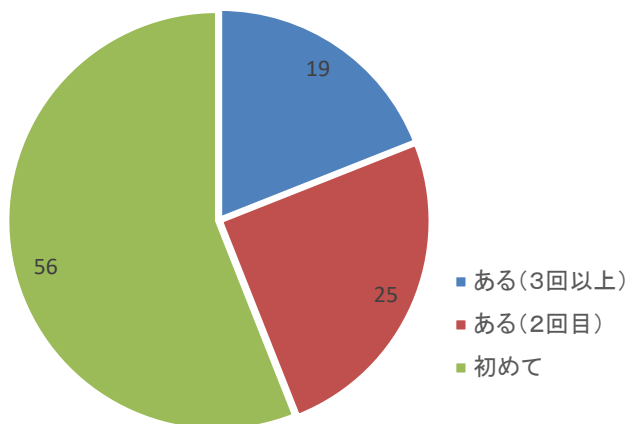
施設規模の分布



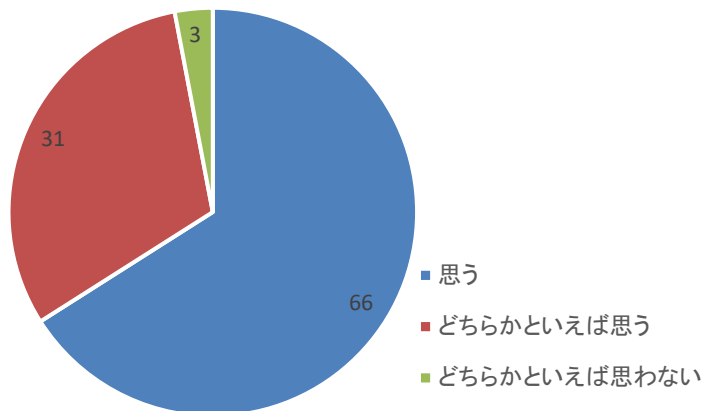
参加者の職種



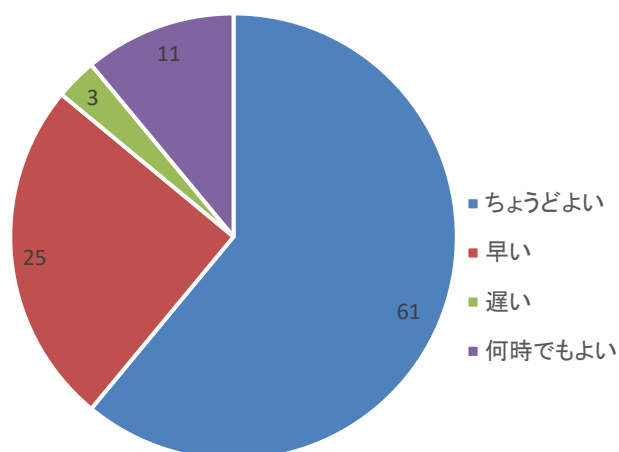
参加経験



次回参加意向



会議開始時間

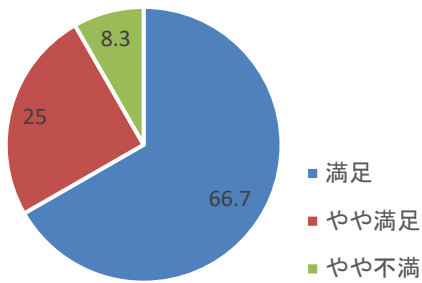


- ・臨床工学技士・看護師を合わせて88%の方々が参加された
- ・約50%が400床未満(中小病院)の施設に従事している。
- ・約56%の方が本会議に初めて参加したと回答。
- ・次回も参加したいと思う(どちらかといえば思う)と回答した方が97%を超えた。
- ・会議開始時間は「ちょうどよい」との回答が約60%だった。

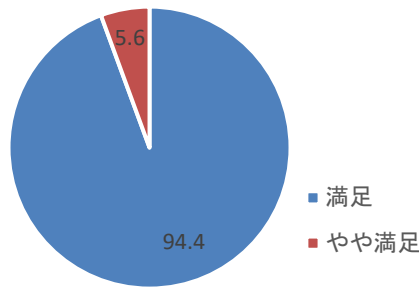
Q2. 今回の会議の満足度について

全ての部で、満足・やや満足との回答が90%を超えた。

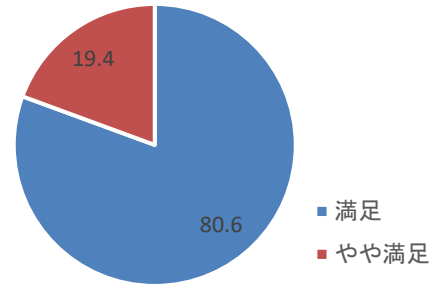
第1部 専門部会報告



第2部 基調講演

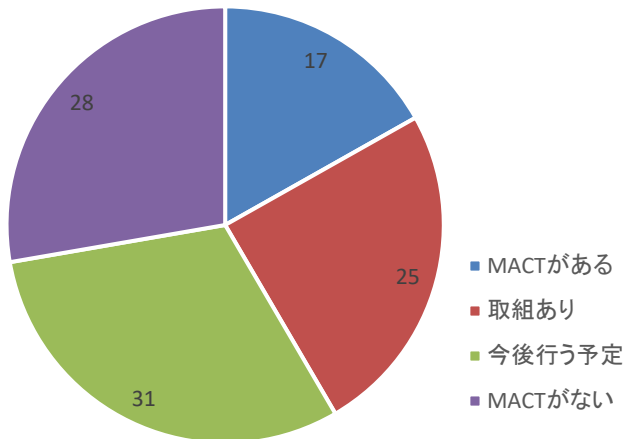


第3部 グループディスカッション ・発表・総括

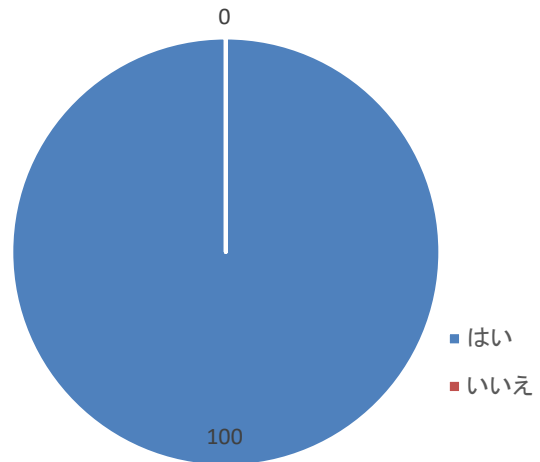


Q3. モニターアラーム管理の取組

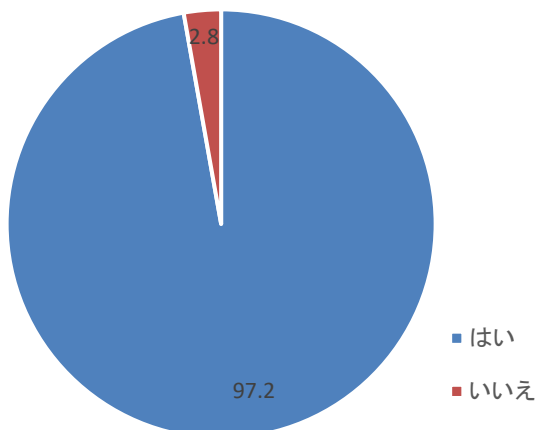
現在、院内でモニターアラーム管理に関する取組を行っているか



今回の会議を通じて、アラーム管理の重要性が以前より高まったか



今回得た知見の中で、施設内で早速導入・検討したいと思える内容があったか



MACTに対する取組と意識変化

- ・現在、すでにMACTを設置している、または何らかの取組を行っている施設に加え、「今後行う予定がある」と回答した施設が多く、アラーム管理への関心が広がっていることが示された。
- ・本会議を通じて、アラーム管理の重要性が「以前より高まった」と回答した参加者が大多数を占め、会議が意識向上につながったことが示された。
- ・今回得た知見の中で早速導入・検討したい内容があったとの回答が97%を超え、実際の行動変容につながる内容であったと思われる。

Q4.横浜市病院安全管理者会議についてご意見・ご要望など

○今後取り上げてほしいテーマ

- ・ **薬剤・身体拘束に関する研修**
- ・ 身体的拘束の取組みの中でも、**薬剤使用に関する研修**を実施してほしい。
 - 薬剤の適正使用
 - 非薬物的アプローチ
 - ケーススタディなど、**現場判断に直結する実践的内容**を希望。
- ・ **医療安全管理者向け研修**
- ・ 医療安全管理者の**後任研修**
 - 院内での**指導方法**
- ・ **インシデントレポートの細かい分類方法**
- ・ **医療事故調査・法的視点**
 - 医療事故調査委員会を実施している**具体的事例の紹介**
 - 施設ごとに管理者の見解の差があるため、**詳しい専門家の講演**を希望。
 - 昨年の患者側弁護士の講演のように、**毎年異なるテーマ設定**がよい。

○講演・発表形式への意見・改善点

- ・ 管理者会議の発表は、必ずしも現在の形式でなくても周知可能な内容だったと感じた。
- ・ 石田先生の**講義を再度開催**してほしい。

○その他の意見

- ・ 面白い活動を行っていると感じた。
- ・ 今後、より末端まで広がる取組みになることを期待している。
- ・ 全体として有意義で、今後も参加したいと感じた。